

平成27年度

自己点検・評価報告書



2016年6月

学校法人 YIC学院

YICビューティモード専門学校

項目の重要度ランク A：設置基準レベル（専修学校として必須） B：全国専門学校経営研究会加盟校目標 C：理想的な姿（努力目標）
--

評価基準 ◎：出来ている ○：ほぼ出来ている ×：実施できていない
--

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が、明文化（文章等にまとめ他者が確認できる状態）しているか。

上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか

1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。（学生便覧等）	A	◎	学生便覧 P1 参照
2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。（教職員手帳等）	A	◎	学生便覧 P1 参照 経営計画書 P12、13 参照
3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。（HP・パンフレット・募集要項等）	B	◎	学生便覧 P1 参照 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/about/history/ 参照
4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。	B	○	学生便覧 P9～13 参照 入学から卒業・基礎から応用に至る流れを明示するとなお良い。

建学の精神（教育理念）、教育目的・教育目標については、学生便覧 P1 に明文化されている。また、HP でも公表されている。校訓の「鍛え磨く」についても、学生便覧、HP に明示されている。

ただ、学生については1年次に学生便覧の読み合わせ以降は、浸透を図る機会を設けておらず、校内明示などの工夫が要求される

教育方針・教育目標についても、すべて即答できる教職員は少数ではあるが、毎日の朝礼での唱和、職員会議などでの確認などの意識づけを実施しているため、昨年よりは改善している。

校訓の「鍛え磨く」については、全教室に額が掲げられ、明示・浸透は十分であった。

2 教育の内容

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか

1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	○	学生便覧 P9～10 参照
2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	○	平成 27 年度校務分掌参照 カリキュラム作成委員会として独立して組織化するとお良い。
3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	B	◎	平成 26 年度校務分掌参照
4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	A	◎	教育課程編成委員会で提案された意見は取り入れているが、カリキュラム作成会議に出席を要請したことは無い。
5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	◎	シラバス参照
6	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	×	完全実施がされていないので、今後は全教科事前配布をしていく。
7	上記において各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	◎	平成 27 年度事業計画 提出予定表参照 学内提出スケジュール (カリキュラム) 参照
8	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	B	◎	コマシラバスについては少数の教員のみ作成。授業日誌においては全教員作成。

- (1) カリキュラム作成については、各学科ごとに学科主任を中心に策定しているが、若年の教職員の意見は取り入れられていないので、委員会を組織化して改善のための自由な意見交流をする必要がある。また、外部サロンから非常勤講師を招く機会も多いので、意見を取り入れることも多いが、カリキュラム・シラバスの策定までの協力を上げればより最先端に近い実習が可能となるので、検討していきたい。
- (2) シラバスについては各教科とも整備されているが、記述様式を定めていないため個人差が出た結果になっているのでガイドラインを設ける必要がある。また、授業開始前の学生へのシラバスの配布は、次年度より必ず実施する必要がある。

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか

9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	◎	授業評価参照 前期・後期終了時に実施
10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	◎	低評価の教員に実施
11	結果に基づく研修を実施しているか。	C	○	研修を制度化していない
12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	◎	模擬授業資料参照 授業観察を実施
13	結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。	C	×	制度化していない
14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	C	○	口頭による指導が主
15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会 (FD) 等)	C	○	H27 研修一覧参照 YIC グループとして研修参加を推奨

(1) 授業評価については、概ね高い満足度が出ているが、学生一人ひとりからの要望や意見を細かく汲み上げていく工夫が必要である。アンケート用紙の様式などの改善を検討していく必要がある。評価に基づく面接はあるが具体的な改善研修が実施されていない。

(2) 授業改善

常勤教員間では授業の相互観察、実習補佐などが日常化されているが、非常勤については、授業評価の結果に基づく改善提案などの手続きが明示化されておらず、個人間の親密度の濃淡によって左右されている。文書で要望を整理・伝達などの工夫が必要である。

(3) 組織的取り組み

昨年度までは学科内での会議が主になっていたが、今年度は学科の枠を超えて実施し、新しい気付きなどが得られた。

各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	◎	インターンシップ実習の手引き参照： 正規授業として実施している
17	キャリア教育などを行っているか。	C	◎	就職実務授業計画参照
18	ビジネス教育を行っているか。	C	◎	就職実務授業計画参照
19	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	C	◎	就職実務授業計画参照
20	リメディアル(導入前教育・補習)教育をやっているか。	C	×	特に必要性を感じない
21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	×	機会があれば実施したい。
22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	B	◎	各種イベントチラシ参照 地域のイベントに積極的に参加している

学校・学科の特性として従事する職種が限定されているため指導は容易で学生の意識も高いが、いったん当該職種への意欲が薄れると即退学に結びついてしまう。そのような学生のためにも、時には異業種を含めたキャリア教育の視点があってもよいのではないかと。

各種検定の合格状況からは、特にリメディアル教育の必要性は感じない。

各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか

23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	◎	研修計画 平成 27 年度年間計画表・自己申告書参照
24	専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	◎	平成 27 年度 YIC 教職員研修参照
25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	◎	H27 研修一覧参照
26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	C	◎	研修受講・資格取得に関する規程参照
27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング・報告書・教務日誌等)	B	○	定期的ではないが、ミーティングを実施している。授業日誌は非常勤講師も記入。

グループ校のスケールメリットを生かして、様々な研修が用意されており、教職員の積極的参加を促している。ただし、教員の個人的な研修は活発に行われているとは言い難い。

また、非常勤との情報共有については口頭レベルではあるが、授業の進捗状況や気になる学生についての情報共有を行っている。

3 教育の実施体制

各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか

1	組織機能図があるか。	A	◎	平成 26 年度校務分掌・諸規定集：専門 学校 YIC グループ管理組織図・決定組織 図参照
2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	◎	年間行事予定表参照
3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	◎	3F 平面図参照
4	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えら れているか。	C	◎	3F 平面図参照
5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	◎	1F 平面図参照
6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示され ているか。	B	◎	学生便覧 P15 参照
7	環境エコ活動（節電・ゴミ分別・節水）に関す る規定が文書化・掲示されているか。	B	◎	ゴミ分別ルール・ゴミ分別の手引き（山 口市）参照
8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文 書化されているか。	A	◎	環境整備・環境整備アクションシート参 照
9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管 理・チェックがされているか。	A	◎	清掃チェック表・環境整備アクションシ ート参照
10	学内外実習時の安全対策に関して文書化され ているか。	B	◎	インターンシップに関する覚書に記載 参照
11	学校生活（実習・行事・学外活動等）において 保険に加入しているか。	A	◎	学生・生徒災害傷害保険資料参照
12	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システ ム等）が整備・点検されているか。	A	◎	消防用設備点検報告書・警備業務請負契 約書・ALSOK 警備報告書参照
13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されて いるか。	A	◎	電気設備点検記録報告書・電気設備定期 点検報告書・建築物環境衛生管理報告書 参照

組織・設備などは適性に設置できている。学生・教職員の安全確保のため、各種設備の定期点検はもちろん、補修必要箇所に対してオンデマンドに対応している。また、敷地内完全禁煙を実施、掲示物等によって安全衛生に努めている。

4 教育目標の達成度と教育効果

各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか

1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A	◎	学生便覧 P18・経営計画書 P43 参照
2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	◎	学生便覧 P18・経営計画書 P43 参照
3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	A	◎	企業訪問・入社試験報告書参照
4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	C	◎	内定先一覧参照
5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。 (パンフレット・HP等)	B	◎	パンフレット P33 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/recruit/record/ 参照
6	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A	◎	検定試験合格目標参照
7	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	◎	検定試験合格目標参照
8	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	C	◎	資格取得率参照
9	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	B	◎	山口県美容技術コンクール・INFA 国際パスポート試験参照 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/news/ 参照
10	退学率の目標を設定しているか。	A	◎	重点項目シート参照
11	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	◎	重点項目シート参照
12	退学結果に関して検証・報告がされたか。	B	◎	休・退学経過報告書参照
13	退学者数を公表しているか。	B	◎	HP:情報公開 http://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/
14	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	C	◎	内定先一覧参照
15	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	C	◎	パンフレット P22~P25 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/recruit/record/ 参照

16	卒業生（同窓生）の1年後の就業状況を把握しているか。	C	◎	添付資料：卒業生就業状況
17	卒業生（同窓生）の1年後の就業状況を公表しているか。	C	×	公表していない

(1) 就職・卒業生

学科名＝職種なので目標はぶれることは無い。内定情報は共有され、リアルタイムで HP で告知、高校に報告書を届けている。

ただし、就業先の定着率が悪く、ミスマッチが十分に防止できているとは言い難い。特に、美容師については慢性的な売り手市場であるため、学生・教職員とも定着率に対する意識は高くなく改善が必要である。

(2) 資格・検定・コンペ

学習、就職への大きなモチベーションとなっており、成果もそれなりに出ている。

今後は全国レベルでの活躍を意識しての育成計画などの整備が必要である。

(3) 退学

先に触れたように、職種への興味の喪失＝退学となるケースはエステティック学科に多く見られる。美容学科＝美容師だが、エステティック学科についてはエステティシャン、ネイリスト、美容部員など、やや幅広い就業可能先が目的意識のやや希薄な学生の入学と繋がっている。このことを想定してのオリエンテーションが重要であり改善が必要である。また、生活習慣の乱れから退学に至るケースも多く、特に通学習慣の無い通信制高校出身者のリタイアがここ数年顕著である。よって、可能な限り出身高校での担任からの情報収集が肝要であるため、その収集方法（申し送り事項の様式整備）などを工夫していきたい。

5 学生支援

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか
(入学前)

1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	◎	パンフレット： P10-15 参照
2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	◎	パンフレット： P10-15 参照
3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	◎	募集要項 P4-5 参照
4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	◎	募集要項 P3 参照
5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	A	◎	http://www.yic.ac.jp/bm/info/ 参照 資料請求シート参照
6	学校説明会等による情報提供（上記 1 から 4）を行っているか。	A	◎	パンフ、募集要項を配布
7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	C	×	特に必要性を感じない
8	入学者に対し学習・学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	B	◎	添付資料：新入生 プレ入学準備説明会資料

この項目に関しては、各メディア形態での内容の充実がなされている。しかしながら、学校の知名度が十分でなく未だ地域に十分に浸透しているとは言い難い。学校案内など本校情報を学生がより容易に知ることができる手段・工夫（通年の TVCM など）が必要である。

また、入学後の検定状況から特に、入学予定者に対しての学習指導の必要は感じていない。

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか
(在学時)

9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	◎	個人面談シート参照
10	キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等）がいるか。	A	◎	資格取得者一覧参照 http://www.yic.ac.jp/lecture/ 参照
11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	A	◎	学生便覧 P20・YIC 学生相談（掲示用）参照
12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	A	◎	組織図参照
13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	A	◎	組織図参照
14	学生の面談・相談記録があるか。	B	◎	個人面談シート参照
15	定期的に健康診断を行っているか。	A	◎	健康診断のご案内参照
16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	◎	募集要項 P6 - 7 参照
17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	◎	年間行事予定表・保護者面談について参照

この区分の項目についてある程度は整備されている。減免型の奨学制度は非常に充実している。ただし、学生の面談・相談記録の記載内容は詳細度において個人差が大きく記述内容の整理が必要である。

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか
(卒業後)

18	卒業生の会（同窓会等）はあるか。	C	◎	同窓会会則参照
19	卒業生への職業紹介をしているか。	B	◎	経営計画書 P43 http://www.yic.ac.jp/bm/recruit/support/ 参照
20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	○	HP : http://bmyicblog.blog90.fc2.com/blog-entry-268.html 参照 制度化はしていない。
21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C	○	不定期ではあるが実施している。
22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP・学校便り等)	C	◎	HP: http://www.yic.ac.jp/bm/graduate/ 参照

同窓会はあるが、開校（平成18年4月）以来、同窓会は1度しか開催されておらず、問題がある。

上記以外を通じての学生支援

23	保護者の会（後援会等）はあるか。	C	×	PTAにあたるものは無く設置予定もない。定期的に保護者面談を実施しているため、必要性は感じていない。
24	企業の会（就職後援会等）はあるか。	C	×	年3-6回定期的に企業説明会を実施しているため、必要性は感じていない。
25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP・学校便り等)	B	○	YIC NEWS 参照 学級新聞参照 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/ 参照 YIC NEWS は保護者に配布はしていない (HP で参照可能)
26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	B	◎	YIC NEWS 参照 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/ 参照 卒業生レポート参照
27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	C	○	求人のための学校案内参照 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/enterprise/ 参照 企業に積極的に PR はしていない

この区分において積極的に活動しているとはいいがたい。HPの在学生の保護者に対するページ（学科の検定の日時、学費の納入期限告知など）があると良い。

6 社会的活動

意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

1	目標・計画に基づく社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を実施しているか。	C	○	教育課程表（エステティック学科）・ボランティア利用施設一覧参照 美容学科では計画化されていない
2	地域社会の行政・商工業・教育機関・文化団体等へ加盟をしているか。	B	◎	加入団体参照
3	上記において定期的な会合に参加しているか。	B	◎	団体会合参照 可能な限り参加
4	教育資源（施設・設備の開放・教職員の出張講座等）を地域社会に提供しているか。	B	◎	貸会場参照 HP: http://www.yic.ac.jp/classroom/ 参照 高校連携講座のご案内参照 HP: http://www.yic.ac.jp/lecture/ 参照
5	社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を評価・単位認定しているか。	C	○	教育課程表（エステティック学科）参照 美容学科は実施していない
6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	○	スチューデントサロン参照 美容学科は特に実施していない

エステティック学科では教育課程表があり、老人養護施設にてボランティア活動を行い、評価表に基づいて成績評価を付けている。多くの講座を提案、地元高校との連携を図っている。地域の催しに積極的に参加し、貢献している。

7 管理運営

学校の管理・運営体制が確立していること

1	理事会が定期的開催されているか。	A	◎	経営計画書 P73-94 参照
2	評議員会が定期的開催されているか。	A	◎	経営計画書 P73-94 参照
3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	A	×	公開はしていない
4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか。	B	◎	年間行事予定表・職員会議議事録参照
5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A	◎	平成 27 年度校務分掌・職務分掌規程参照
6	決裁規程が文書化されているか。	B	◎	経営計画書 P53・起案書参照
7	人事規程が文書化されているか。	B	◎	就業規則 P6-10 参照
8	人事考課制度は文書化されているか。	B	◎	経営計画書 P50-51・人事考課制度参照
9	昇進・昇格制度は文書化されているか。	B	◎	昇格運用規定
10	賃金制度は文書化されているか。	A	◎	給与規定・給与規程運用規則細則参照
11	採用制度は文書化されているか。	B	◎	就業規則 P6-7 参照
12	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	A	◎	消防計画・気象警報による休講等の取扱ガイドライン参照
13	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	A	◎	自衛消防隊各班担当内容参照
14	定期的に防災訓練を実施しているか。	A	◎	防火避難訓練実施要項参照
15	個人情報保護規程が文書化されているか。	A	◎	個人情報保護法に係る組織体制・従業員の教育・監督体制・経営計画書 P47 参照
16	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	B	◎	就業規則 P10-11 参照
17	公印管理簿があるか。	B	◎	公印管理簿参照
18	出退勤管理簿があるか。	A	◎	出勤簿・勤務予定表参照
19	受信・発信簿があるか。	A	◎	文書発送簿・文書受付簿参照
20	SD（スタッフディベロップメント）に関する計画・実施されているか。	C	◎	平成 27 年度研修一覧参照
21	教職員の健康診断がされているか。	A	◎	健康診断のご案内参照

グループとしてほぼ運営体制は整っている。アメーバ経営を導入し、全教職員が自校やグループ全体の収支を把握できる状況にある。しかし、全教職員に十全に浸透すまでにはさらに時間を要する。この区分では、理事会・評議委員会の議事録の公開のみがされていない。グループとしての判断が待たれる。

8 財務

財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか

1	年度予算・中期計画が策定されているか。	A	◎	全体予算書・中期計画1・中期計画2参照
2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	B	◎	採算計画遂行表参照
3	会計監査（内部・外部）体制のルールが明確化されているか。	B	◎	会計士による監査を実施
4	会計監査（月次決算書等）の結果報告が文書等にて明確化されているか。	B	◎	監査報告書参照
5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	A	◎	開示請求書参照
6	固定資産管理規程が文書化されているか。	B	×	文書化されていない
7	図書管理規程（養成施設等）が文書化されているか。	C	○	学生便覧 P19～20 参照 規程ではない
8	物品（消耗品・貯蔵品）等の在庫管理をしているか。	B	◎	一定量消費後発注ルール有り
9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A	◎	日常の火災予防の担当者と日常の注意事項・環境整備アクションシート参照
10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	B	○	添付資料：経営計画書 P53 参照 確認がされているかを確認するルールが不明瞭

毎年、事業計画が策定され理事長の承認を得て運営されている。収支決算などの情報公開ファイルが整備され、開示請求があれば閲覧可能である。

ただし、各規程の整備は十分でなく問題である。物品の管理台帳が無く整備が急がれる。

9 改革・改善

各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか

1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	B	○	規定を整備
2	自己点検・評価の組織があるか。	B	○	学校関係者評価委員会
3	評価・改善を行うための組織があるか。	B	○	学校関係者評価委員会
4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	A	○	HP : http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/021101a.htm を印刷・配布
5	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	B	○	「自己点検・自己評価」簡易チェック様式回覧
6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	B	×	期限・計画を定めていない
7	自己点検・評価報告書があるか。	B	◎	自己点検・評価報告書参照
8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	◎	公表している

自己点検・評価の基本ルールはあるが、詳細なルールになっていない。
組織・体制については、整備途上である。